

木祖村議会だより

# 道しるべ



ほら、見てごらん春がきたよ



(写真：湯川 喜義氏)

No. 195

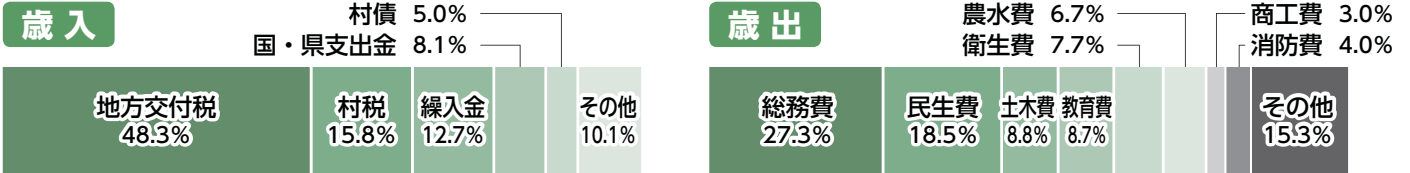
令和8年4月23日(木)

令和8年3月会議

## CONTENTS

- ▶ P2：令和8年度当初予算
- ▶ P3：議案審議結果／  
木曽広域連合議会第1回定例会報告
- ▶ P4～P5：特集1 当初予算「第二次木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿った事業」紹介
- ▶ P6～8：常任委員会連合審査（厚生文教委員会）
- ▶ P8～9：常任委員会連合審査（産業経済委員会）
- ▶ P9：木祖村議会全員協議会
- ▶ P10～13：一般質問
- ▶ P14：特集2 国道19号藪原改良事業の概要／  
松塩筑木曾老人福祉施設組合議会第2回定例会報告
- ▶ P15：活動報告
- ▶ P16：元気発見むらびと大図鑑／編集後記

# 31億8,635万円の緊縮型予算

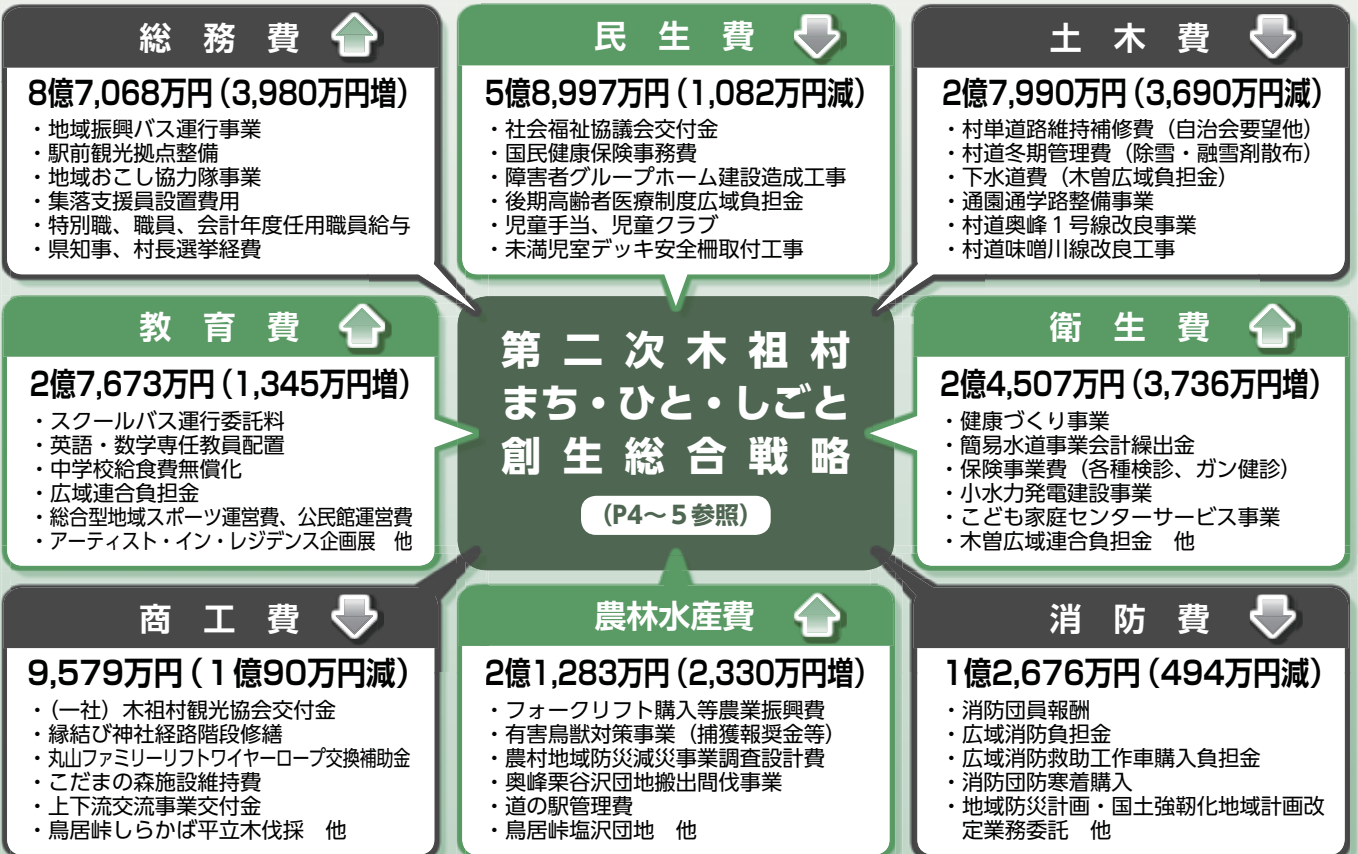


## 駅前観光拠点整備、小中学校給食無償化、小水力発電事業を中心に、「あれもこれも」ではなく「選択と集中」で取り組む

- **歳入**：自主財源の個人村民税の前年当初比は259万円増も村税合計では847万円減の5億227万円。一方、依存財源の地方交付税は9,000万円増の15億4,000万円（歳入全体の48.3%）を見込む。
- **歳出**：昨年度のスキー場スノーマシン整備工事や行政手続き標準化による移行の各費用がなくなったものの、人事院勧告による職員給与費等、駅前観光拠点整備、簡易水道事業への繰入金、農村災害対策整備事業、広域消防救助工作車整備負担金、小中学校給食無償化などが増額となった。

【参考：特別会計及び事業会計】

- **国民健康保険特別会計**：被保険者数は社保加入者の増加や団塊世代の後期高齢者医療制度への加入により507名の見込み。1人当たり医療費は令和7年度50万円と増加の見込み。
- **後期高齢者医療制度特別会計**：被保険者数の増加、子ども・子育て支援制度の導入により昨年当初比620万円の増額。
- **簡易水道事業会計**：菟原改良に伴う水道の切り回し工事、奥峰配水管の布設工事、アセットマネジメント計画を策定。
- **下水道事業会計**：施設維持管理費は労務単価と物価高騰で増額。小木曾2号MPポンプ更新等を実施予定。



第二次木祖村  
まち・ひと・しごと  
創生総合戦略  
(P4~5参照)

※ ( ) 内は前年度比較増減額。▲▼は増減を表示。

## 議案審議結果

3月会議は3月3日(火)開会され、議案25件(人事案件1件、専決報告1件、条例制定3件、条例改正6件、松塩筑木曾老人福祉施設組合関係1件、木曾広域連合関係1件、過疎計画1件、辺地計画1件、補正予算5件、当初予算5件)発議2件について慎重審議し原案通り可決し、3月16日(月)散会した。

付託委員会名 厚文：厚生文教委員会 産経：産業経済委員会

|          |  |       |     |
|----------|--|-------|-----|
| ■議案第4号   | 木祖村固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて        | 人事案件  | …同意 |
| ■専決報告第1号 | 令和7年度木祖村一般会計補正予算(第7号)                  | 厚文・産経 | …同意 |
| ■議案第5号   | 押印及び署名見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について       | 厚文    | …可決 |
| ■議案第6号   | 既存条例の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について        | 厚文    | …可決 |
| ■議案第7号   | 木祖村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を求める条例の制定について | 厚文    | …可決 |
| ■議案第8号   | 木祖村特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について      | 厚文    | …可決 |
| ■議案第9号   | 木祖村職員の旅費支給に関する条例の一部を改正する条例について         | 厚文    | …可決 |
| ■議案第10号  | 木祖村福祉施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について      | 厚文    | …可決 |
| ■議案第11号  | 木祖村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について             | 厚文    | …可決 |
| ■議案第12号  | 木祖村消防団条例の一部を改正する条例について                 | 厚文    | …可決 |
| ■議案第13号  | 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について            | 厚文    | …可決 |
| ■議案第14号  | 松塩筑木曾老人福祉施設組合規約の一部を変更する規約について          | 厚文    | …可決 |
| ■議案第15号  | 木曾広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄について          | 厚文    | …可決 |
| ■議案第16号  | 木祖村過疎地域持続的発展計画の変更更新について                | 厚文    | …可決 |
| ■議案第17号  | 辺地総合整備計画の変更について                        | 厚文    | …可決 |
| ■議案第18号  | 令和7年度木祖村一般会計補正予算(第8号)                  | 厚文・産経 | …可決 |
| ■議案第19号  | 令和7年度木祖村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)            | 厚文    | …可決 |
| ■議案第20号  | 令和7年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計補正予算(第2号)         | 厚文    | …可決 |
| ■議案第21号  | 令和7年度木祖村簡易水道事業会計補正予算(第6号)              | 産経    | …可決 |
| ■議案第22号  | 令和7年度木祖村下水道事業会計補正予算(第3号)               | 産経    | …可決 |
| ■議案第23号  | 令和8年度木祖村一般会計予算                         | 厚文・産経 | …可決 |
| ■議案第24号  | 令和8年度木祖村国民健康保険特別会計予算                   | 厚文    | …可決 |
| ■議案第25号  | 令和8年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計予算                | 厚文    | …可決 |
| ■議案第26号  | 令和8年度木祖村簡易水道事業会計予算                     | 産経    | …可決 |
| ■議案第27号  | 令和8年度木祖村下水道事業会計予算                      | 産経    | …可決 |

◆人事案件(議案第4号) 木祖村固定資産評価審査委員会委員に篠原長平氏(木祖村菅)選任に同意した。(再任で任期は令和8年4月1日より令和11年3月31日までの3年間)

◆発議第1号 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める意見書の提出について 提案議員：奥原 當 議員

◆発議第2号 令和9年度簡易水道基盤強化予算等の確保に向けた意見書の提出を求める陳情書 提案議員：安原千佳世 議員

◆陳情 「木曾の司法をあきらめない協議会の設立及び活動に関する陳情」を採択し、村長に提出。(P15活動報告参照)

## 木曾広域連合議会 第1回定例会

令和8年2月27日(金) 木曾文化公園

・令和8年度一般会計予算35億3,066万円 対前年8,892万円減

・清水議員一般質問「木曾広域連合におけるDXの現状と今後について」

・宮下議員が広域監査委員に選任される

(派遣議員：清水・宮下)

向井連合長から令和8年度一般会計予算の説明があった。主な施策は①CATV機器設備更新6,700万円、②旧木曾寮解体工事1億6,200万円、③木曾クリーンセンター補修工事1億4,200万円、④町村橋梁点検6,400万円、⑤広域消防救助工作車更新1億7,000万円。一般会計の物件費800万円減6億5,000万円。介護保険会計は39億3,300万円対前年5,300万円減。下水道事業会計は収益的支

出の当初予算総額1億400万円、対前年1,000万円の増。

消防職員採用二次募集、面接試験を行い5名の応募者の中から2名を採用。一次募集と合わせ一般職1名、消防職5名の計6名の採用者を内定した。

その他、3委員会の報告、8件の議案審議を行い、原案通り可決、全員協議会を開催、当日散会した。その後、懇親会が開かれ、各町村の議員間で交流を深めた。

|        |                                     |     |
|--------|-------------------------------------|-----|
| ■議案第1号 | 一般職の職員の旅費等に関する条例の一部を改正する条例について      | …可決 |
| ■議案第2号 | 木曾広域連合火災予防条例の一部を改正する条例について          | …可決 |
| ■議案第3号 | 令和7年度木曾広域連合一般会計補正予算(第4号)            | …可決 |
| ■議案第4号 | 令和7年度木曾広域連合介護保険特別会計補正予算(第4号)        | …可決 |
| ■議案第5号 | 令和8年度木曾広域連合一般会計予算                   | …可決 |
| ■議案第6号 | 令和8年度木曾広域連合介護保険特別会計予算               | …可決 |
| ■議案第7号 | 令和8年度木曾広域連合下水道事業会計予算                | …可決 |
| ■同意第1号 | 監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて(議会選出監査委員) | …同意 |

※詳細は「きそネット第87号(発行：令和8年3月31日)」にて確認願います

仕事の魅力創造・発信 ~木祖村にあった魅力ある仕事の創造と魅力の発信~

【魅力ある仕事を創造する人づくり、人材の確保】

- ▶ (一社) 木祖村観光協会交付金一般分 … 1,717万円
- ▶ (一社) 木祖村観光協会交付金名古屋総合拠点施設分 … 850万円
- ▶ (一社) 木祖村観光協会交付金藪原駅分 … 329万円
- ▶ (一社) 木祖村観光協会交付金上下流交流分 … 94万円
- ▶ 農業生産振興補助金 … 35万円
- ▶ 畜産施設改良事業補助金 … 120万円
- ▶ 繁殖雌牛導入事業補助金 … 30万円
- ▶ 繁殖雌牛自家保留事業補助 … 66万円
- ▶ 家畜疾病予防等事業補助金 … 41万円
- ▶ 農地等畜産的利用促進事業交付 … 87万円
- ▶ 牧草地更新事業交付 … 18万円
- ▶ 森林整備推進事業補助 … 755万円

① 溪流釣り

◆ 小学生釣り体験

- ・開催日：令和8年6月6日(出)
- ・場 所：こだまの森溪流釣り堀 ・定員：50名

◆ テンカラ釣り優先区域設定

- ・期 間：令和8年6月1日(月)~7月31日(金)
- ・場 所：笹川 (18区公会所付近)

◆ テンカラ釣り&毛ばり講習会

- ・開催日：令和8年6月13日(出)午前10時~午後1時30分
- ・会 場：18区公会所

【魅力再発掘による観光の活性化】

- ▶ 丸山ファミリーリフトワイヤーロープ交換工事補助金 new … 718万円
- ▶ 長野県宿泊税市町村交付金を活用した観光振興事業 new
  - ・木曽地域文化遺産活性化協議会負担金 … 80万円
  - ・鳥居峠遊歩道(村道原町峠線)整備 … 41万円
  - ・信州デスティネーションキャンペーン負担金 … 10万円

【地域資源を活用した魅力発信】

- ▶ イベント実行委員会交付金一般分 … 53万円
- ▶ イベント実行委員会交付金①溪流釣り分 … 41万円
- ▶ イベント実行委員会交付金②マラソン分 … 261万円
- ▶ イベント実行委員会交付金③日曜画家展分 … 65万円
- ▶ 公有林整備事業(奥峰栗谷沢団地撤出間伐事業) … 1,925万円

② 第39回やぶはら高原はくさいマラソン大会

- ・開催日：令和8年7月5日(日)午前9時スタート
- ・会 場：こだまの森~奥木曾湖周回
- ・種 目：ハーフ/10km/3km
- ・定 員：1500名

③ 第40回全国日曜画家中部日本展

- ・作品受付：令和8年8月17日(月)~9月1日(火)
- ・開 催 日：令和8年10月17日(出)~10月25日(日)
- ・会 場：木祖村社会体育館

交流・移住の拡大 ~村外からの交流人口増大と移住・定住の拡大~

【関係人口拡大のための環境整備】

- ▶ 駅前観光拠点整備事業 new … 5,983万円
- ▶ 木祖村ご当地ボードゲーム活用事業 … 118万円

【木祖村の魅力発信する体験、交流の拡大】

- ▶ 移住定住に係る補助金 … 330万円
- ▶ お・や・す・ミーティング活動補助金 … 15万円
- ▶ 木曾ミュージアムはんこラリー開催費 … 14万円
- ▶ 木祖村郷土館企画展「木曾のお六櫛」開催費 … 188万円
- ▶ 木祖村アーティスト・イン・レジデンス2026開催費 … 162万円

【空き家を活用した交流、移住の拡大】

- ▶ 空き家対策事業補助金 … 258万円
- ▶ 空き家バンク仲介手数料補助金 … 100万円



駅前観光拠点の完成イメージ図

子育て、多世代交流 ~みんなでつくる、子育てしやすい環境と多世代交流~

【出会いと交流の場の拡大】

- ▶ 新婚世帯生活応援補助金 … 42万円
- ▶ 結婚新生活支援事業補助金 … 120万円
- ▶ ながの結婚マッチングシステム委託料 … 12万円
- ▶ 結婚祝金 … 40万円

【子育て世代への支援拡大】

- ▶ チャイルドシート・ベビーカー購入補助 … 49万円
- ▶ こども家庭センター事業 … 1,067万円
- ▶ 木造住宅新築等補助金における子育て世帯加算(1人につき5万円(上限15万円)の新設) new 拡充 … 210万円

- ▶ 病児保育事業 new … 14万円
- ▶ こども誰でも通園制度事業 new … 2万円

【木祖村らしい教育、子育て環境の整備】

- ▶ 公園遊具の修繕事業 … 26万円
- ▶ 就学支援体制(発達・教育アドバイザー)の配置 … 180万円
- ▶ スクールバス運行委託事業 … 1,909万円
- ▶ 小学校における子育て支援策 教育支援員の配置
  - ・特別支援教育及び理科支援員 … 1,039万円
  - ・外国語指導助手 … 238万円
- ▶ プログラミング授業 new … 50万円

- ▶ 保護者負担軽減助成（修学旅行、臨海学習、移動音楽教室等：小学校保護者）**【拡充】** …… 54万円
- ▶ 中学校における子育て支援策 教育支援員の配置
  - ・特別支援教育支援員 …… 374万円
  - ・外国語指導助手 …… 128万円
  - ・英語・社会専任教員 …… 861万円
- ▶ 部活指導員の配置 …… 222万円
- ▶ 保護者負担軽減助成（修学旅行、部活動支援、英検・漢検補助等：中学校保護者）**【拡充】** …… 156万円
- ▶ すくすく大学 …… 27万円
- ▶ 公設学習塾開設の開催 …… 68万円
- ▶ 学校給食費無償化 **【拡充】** …… 1,738万円

- ▶ 奨学資金貸付事業（木祖村奨学資金・木祖村居住希望奨学資金各基金事業）※申請等による
- ▶ 私立高等学校等生徒奨学補助金 …… 32万円
- ▶ 自宅での子育てを支援する「在宅育児世帯応援給付金」の給付 …… 61万円
- ▶ ドリル等学用品の公費による購入
  - ・小学校分 …… 190万円
  - ・中学校分 …… 140万円
- ▶ 中学校生徒用制服の公費による購入 …… 84万円
- ▶ 高等学校等通学（寄宿）費補助金の支給 …… 138万円
- 【多世代交流による子育て支援】**
- ▶ おじいちゃん先生事業 …… 109万円

## 健康で安心な村づくり ～健康で安心して暮らせる、元気な村づくり～（一部省略）

### 【自治会組織の再編と地域力の強化】

- ▶ 資材支給事業（重機借上料・原材料費）… 204万円

### 【安全、安心な暮らしと防災対策】

- ▶ 防災備蓄品の購入 …… 129万円
- ▶ 地区防災備品購入補助金 …… 40万円
- ▶ 菅公民館非常用電源ケーブル工事 …… 30万円
- ▶ 地域防災計画改定業務委託 …… 330万円
- ▶ 国土強靱化地域計画改定業務委託 …… 220万円
- ▶ 農村災害対策整備事業（調査計画）**new** …… 1,500万円
- ▶ 緩衝帯等整備事業 …… 600万円
- ▶ ライフライン危険木除去事業 …… 275万円
- ▶ 危険木除去事業補助金 …… 100万円
- ▶ 森林管理制度による森林整備事業 …… 220万円

### 【健康で暮らせる生活の支援】

- ▶ 自転車ヘルメット購入支援補助金 …… 2万円
- ▶ 高齢者補聴器購入費補助金事業 **new** …… 50万円
- ▶ 介護予防事業の推進 …… 526万円
- ▶ 生活支援体制整備事業の実施 …… 525万円
- ▶ 幸せテラスまめのわ施設管理費 …… 437万円
- ▶ 幸せテラスまめのわ周辺緑地整備事業 …… 10万円
- ▶ 健康づくり事業 …… 846万円
- ▶ 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業 …… 63万円
- ▶ 各種検診事業の推進（無料重点年齢の設定等）… 795万円

- ▶ 予防接種事業 …… 825万円
- ▶ 減塩（適塩）を意識した食生活の推進 …… 4万円
- ▶ 高齢者带状疱疹予防接種補助事業 …… 110万円
- ▶ 木祖村総合型スポーツクラブ運営費 …… 991万円
- ▶ フィットネスルーム維持管理費 …… 37万円

### 【暮らしを支える生活基盤の整備】

- ▶ ひまわり号運行委託 …… 2,106万円
- ▶ デマンドタクシー運行委託 …… 2,785万円
- ▶ 広域路線バス（負担金）… 910万円
- ▶ 障がい者グループホーム造成工事 **【拡充】** …… 861万円
- ▶ 農地の新たな活用に向けた農地利用計画の策定（水稻栽培）**new**
- ▶ 有害鳥獣の捕獲や緊急銃猟を実施する有害鳥獣対策事業 **【拡充】** …… 1,363万円
- ▶ 奥峰配水管布設替工事設計業務 **【拡充】** …… 571万円
- ▶ 奥峰配水管布設替工事 **【拡充】** …… 4,743万円
- ▶ 荻原改良に伴う配水管切り回し工事 **new** …… 3,934万円
- ▶ 葛沢頭首工改修工事 **new** …… 880万円
- ▶ アセットマネジメント策定 **new** …… 912万円
- ▶ 国鉄跨線橋修繕工事（吉田）**①** **【拡充】** …… 1,650万円
- ▶ 村道奥峰1号線改良工事**②** **new** …… 3,300万円
- ▶ 村道味噌川線改良工事**③** …… 3,300万円
- ▶ 交通量調査 **new** …… 42万円



① 国鉄跨線橋修繕工事（吉田）

舗装のひび割れが激しい



② 村道奥峰1号線改良工事

ほのぼののハウス前村道 水路がクランクのため溢水する



③ 村道味噌川線改良工事

手前は令和7年度実施済み

## その他新規・拡充事業（当初予算「第二次木祖村まち・ひと・しごと創生総合戦略に沿った主な事業」に含まれないもの）

### 【新規事業 **new**】

- ▶ 公共施設LED化事業 …… 792万円
- ▶ デマンド交通予約管理システム導入事業 …… 596万円
- ▶ 公共交通定期券購入補助事業 …… 47万円
- ▶ 木曾郡合同乳幼児健診及び交通費補助事業 …… 75万円
- ▶ 妊婦へのRSウイルスワクチン定期予防接種 …… 32万円
- ▶ 集落支援員事業 …… 493万円
- ▶ フォークリフト購入事業 …… 444万円

- ▶ 源流の里森林づくり事業 …… 1,910万円
- ▶ GIGA端末更新事業 …… 551万円

### 【拡充事業 **【拡充】**】

- ▶ 防犯灯設置補助金 …… 30万円
- ▶ ふるさと納税寄附事業 …… 889万円
- ▶ ヘルス&エコポイント事業 …… 70万円
- ▶ こども家庭センター事業 …… 64万円
- ▶ 小水力発電事業 …… 1,100万円

厚生文教委員会 総務課 住民福祉課 教育委員会

議案第5号 押印及び署名見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

**問** 署名の際に使用する筆記用具の指定について

**答** 筆記用具の指定はないが消える物などは適当ではない。

議案第6号 既存条例の見直しに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

**問** 見直しに活用したA Iについて

**答** 組織的にA Iを活用した業務は例規システムの見直しや会議録の文字起こしのみ。個々には生成A Iなど活用している職員がいる。

**問** A Iの活用による職員数の変化について

**答** 活用により効率化を進めていくが、現状では職員数は減少しない。

**意見** 業務にA Iを積極的に活用して欲しい。

**答** 今後は生成A I等の活用も検討していく。

議案第7号 木祖村乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を求める条例の制定について

**問** 想定される利用者について

**答** 就労の状況に関係なく利用でき、観光で木祖村を訪れた方などが利用する可能性はある。利用前には必ず面談が必要。

議案第8号 木祖村特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第9号 木祖村職員の旅費支給に関する条例の一部を改正する条例について

議案第8号、議案第9号とも質疑なし

議案第10号 木祖村福祉施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

**問** フィットネスルーム以外の管理について

**答** 施設の管理は村で、フィットネスルームのみ運営をスポーツクラブにお願いしている。

**問** 施設の予約システムについて

**答** フィットネスルームは予約システムを導入している。これまでは役場で電話予約を受けることもあり、予約が重複することがあったため、今回一本化する。

議案第11号 木祖村国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

**問** 子ども子育て支援金制度について

**答** 制度は4月から開始となり、保険料の徴収も始まる。

**意見** 住民負担が増えていくことには反対する。

**意見** 国の制度となり、国保以外の方も全て対象となるため、木祖村だけが反対してもしようがない。

**意見** 国の制度だから全て実施するというのはいいか。

TOPICS

役場の土・日の宿直業務がシルバーセンターへ委託化。人材は役場職員OBや若い方が行う予定。

議案第12号 木祖村消防団条例の一部を改正する条例について

議案第13号 消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について

議案第12号、議案第13号とも質疑なし

議案第14号 松塩筑木曾老人福祉施設組合規約の一部を変更する規約について

**問** 負担割合について

**答** 市部と町村部では民間施設の数に違いがあり、利用者の施設選択の幅に違いがあるが、特段議論には上がっていない。また、安曇野市の人口は施設を利用できる明科地区の人口のみになっている。

議案第15号 木曾広域連合ふるさと基金に係る出資金の権利一部放棄について

議案第16号 木祖村過疎地域持続的発展計画の変更更新について

議案第15号、議案第16号とも質疑なし

議案第17号 辺地総合整備計画の変更について

**問** 制度等が見直された経過について

**答** 辺地の指定内容については、その都度変更がある。また、事業実施に併せ、その都度、計画変更を行っている。

**問** 辺地指定の状況について

**答** 学校や駅など主要施設までの距離や路線バスの運行数等により算定されており、現在は栗屋と栃ノ木の2地区が指定されている。以前は神出辺地なども指定されていたが、現在は条件に満たず指定から外れている。

議案第18号 令和7年度木祖村一般会計補正予算(第8号)

**問** 広域連合事業精算返還金について

**答** C A T V光化事業の際に借入した、過疎対策事業債の交付税措置がない3割分について、当年度の償還額に合わせ返金されている。

**問** スポットクーラーの利用方法等について

**答** 交付金の対象が移動式に限られていたため、施設全体を冷やせる物ではない。使用する際の条件に併せ、排熱が必要なスポットクーラーと排熱の必要がない気化式冷風機とを使い分ける。

**問** 保育所広域入所負担金について

**答** 村に住民票がある方が、他市町村の保育園を利用した場合の負担金となる。木祖村では0歳児の受入を行っておらず、今回は塩尻市の施設を利用した方がいたため、負担金を計上した。

議案第19号 令和7年度木祖村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

議案第20号 令和7年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計補正予算(第2号)

議案第19号、議案第20号とも質疑なし

議案第23号 令和8年度木祖村一般会計予算

**問** 地方債の利率について

**答** 令和8年度は2.4%で試算し予算計上している。10年前からは2%程度高くなっている。民間からの借入については、見積徴収を行い条件の良い金融機関と契約している。

**問** 地方公共団体情報システム機構補助金について

**答** 国から直接入る補助金ではないため雑入に計上している。

**問** 行政システムの標準化について

**答** 交付税措置される部分もあるが、国庫補助については明確になっておらず、国と地方がそれぞれ経費削減にも努めることとなっている。また、システムの標準化は、利用する住民にとってはメリットがある。

**問** 地方消費税交付金について

**答** 令和7年度の実績を考慮し予算を増額して計上している。

**問** 宿直業務委託料について

**答** 令和8年度からシルバー人材センターへ、土日の宿直業務を委託するため委託料を計上した。郡内では木曽町がシルバー人材センターへ委託している。また、人材は役場職員OBや若い方が行う予定。

**問** 各団体等への負担金について

**答** 付き合いやメリットのない団体については精査していく。

**問** 公共交通委託事業者の状況について

**答** やぶはらタクシーは人員も含め、業務拡大している。おんたけ交通は運転手の高齢化や人員不足が課題となっている。きそバス運行が始まったことで、郡内で委託料を統一した積算となり、経営は安定すると思われるが、人員不足の課題は残る。

**問** 地域防災計画及び国土強靱化地域計画改定業務委託料について

**答** 地域防災計画は、ほぼ全面改訂であり、委員会運営サポートも委託料に含まれている。国土強靱化地域計画は、5年ごとの更新期となるため、必要な経費を計上した。

**問** ふるさと納税の新たな取り組みについて

**答** PayPayクーポンを利用できる店舗は国の定める基準に該当する必要がある。事業者へは個別案内を含め全村に呼び掛けていく予定。

**意見** 対象店舗に漏れないよう、丁寧な説明をしてほしい。

**問** 駅前観光拠点DX導入管理委託料について

**答** 建物建設に係る補助事業の関連で、デマンド交通管理システム導入に係る予算を計上している。

**問** 高齢者補聴器購入費補助について

**答** 手続きには医師や購入店が発行した聴力が分かるものを提出いただく必要があり、健康診断の結果では要件を満たさない。

**問** 小水力発電建設事業委託料について

**答** 委託先は県企業局。また発電量については、より具体的な設計をするために企業局から示されており、以前の数値からは減少しているが、取水地等に変更はない。

**問** 歯の検診について

**答** 令和7年度から40歳から10歳刻みの方を対象に検診に対する補助制度を創設している。

**要望** 補助対象を5歳刻みにしてほしい。

**問** 新型コロナワクチンについて

**答** インフルエンザと同様で、希望する方は医療機関

でワクチン接種が可能。

**問** 障害者自立支援事業の扶助費について

**答** 制度に変更はないが、サービスを受ける利用者の増加が見込まれるため、訪問入浴サービス分と移動支援分を増額計上している。

**問** ヘルス&エコポイント事業について

**答** 拡充に伴う対応分は令和9年度予算へ計上する。

**問** ネコ繁殖制限に伴う行政の対応について

**答** 独居高齢者等への対応は各担当者で相談しながら行っている。

**意見** 民生児童委員や社協、ねこ会等とも一体になって対応する必要がある。

**答** 対応していく。

**問** 村営墓地の管理について

**答** 数年前に8区画を造成しており、近年は墓じまいする方も増えている。当面の間、区画を造成する必要はない。

**問** 木曾寮入所者について

**答** 現在2名が入所中で、所得に応じ1名の方は個人負担している。

**問** 病児保育事業について

**答** 今回の松本市との協定では病児に限られている。病後児については今後検討となるが、1回の利用で連続5日以内であれば利用できるもので、うまく活用して欲しい。

**問** 病児保育利用負担金について

**答** 月1名、年間12名の利用を見込み、負担金と利用料を計上した。

**意見** 子育て支援事業は今後も継続して支援してほしい。

**問** スポーツ振興事業委託料について

**答** 4月から配置する事務局長の件費の他、教育委員会分の事業に係る委託料を計上した。

**問** 駅伝大会用ストップウォッチ修繕について

**答** 10台の内、毎年3台ずつ修繕している。特殊なストップウォッチとなるため、定期的に修繕している。

**問** 固定資産税の国有資産等所在市町村交付金について

**答** 国有林の土地減少に伴い、減額計上している。

**問** デマンド交通予約管理システムについて

**答** 村の資産となるため、所有権は村で、維持管理も村負担となる。

**問** アーティスト・イン・レジデンス事業について

**答** 令和7年度同様にアーティストが木祖村に滞在して事業を行う。村民を広く対象にワークショップを予定している。

**意見** 文化公園で行われる信大生によるオーケストラを子ども達が見られるよう機会の提供を検討してほしい。

議案第24号 令和8年度木祖村国民健康保険特別会計予算

**問** 国保税率について

**答** 令和9年度まで4年かけて値上げし、いずれは県で統一した税率となる予定。まずは木曽郡内で統一することになるが、下がる可能性もある。医療費の動向により税率は左右される。

議案25号 令和8年度木祖村後期高齢者医療制度特別会計予算

**問** 医療費の動向について

**答** 木曽郡全体が低い状況にある。分析は行っているが、はっきりとした要因は分かっていない。

陳情受付3番 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情

負担が増えることがないよう、声を上げるべき等の意見があり、審査の結果「採択」提案議員：奥原議員

## 産業経済委員会 産業振興課 建設水道課

議案第18号 令和7年度木祖村一般会計補正予算（第8号）

**問** 公有林整備事業について

**答** 鳥居峠、塩沢団地の搬出間伐事業の事業面積減少に伴う事業費の減少により減額した。

**問** 有害鳥獣捕獲奨励金について

**答** 例年よりイノシシやニホンザルの捕獲頭数が増加したことにより増額計上した。

**問** 村外の猟師が捕獲した場合の対応について

**答** 有害捕獲となるため、依頼した人に報奨金を支払うこととなる。村外の猟師が捕獲した場合は報奨金の支払いは無く、捕獲頭数もカウントされない。

**問** 源気くん型地域産業活性化事業補助金について

**答** 申請は2件、補助上限額に達しなかったため減額した。

議案21号 令和7年度木祖村簡易水道事業会計補正予算（第6号）

**問** 過年度損益修正損について

**答** 令和5年度に完成した藪原浄水棟の減価償却の計上漏れに伴う増額。

**意見** 建設仮勘定からの振替は、年度末に一括して行うのではなく、随時適正な時期に行うこと。

**問** 宮沢砂防管路布設替設計補償費について

**答** 県からの負担金収入。

議案22号 令和7年度木祖村下水道事業会計補正予算（第3号）

質疑なし

議案23号 令和8年度木祖村一般会計予算

**問** 観光地での熊対策について

**答** 熊の出没については、鈴の配置や貸出の他、状況に応じ県と協力し対応していく。

**問** トラクターの使用料について

**答** 令和7年度までの国の交付金事業でリースしたトラクターのリース残を計上した。集落支援員に使用してもらう予定。

**問** フォークリフト購入について

**答** そば乾燥施設で使用しているフォークリフトの老朽化に伴う更新で、土のう運搬等も視野に活用していく。

**問** ニホンザルへの発信機装着状況について

**答** アニマルマップの導入により8つの群れを確認しており、現在5つの群れに発信機を装着している。

**問** 熊の捕獲頭数について

**答** 緊急捕獲で3頭、狩猟で4頭。

**問** ツキノワグマ学習放銃について

**答** 錯誤捕獲した場合が対象となるが、住宅の近くへ出没した場合は、捕獲・駆除が可能と県の考え方も変わってきている。

**問** 宿泊税について

**答** 6月から徴収が始まるため、県が中心になり事業者への説明を行っている。木祖村の宿泊者数は多いが、

陳情受付5番 木曾の司法をあきらめない協議会の設立及び活動に関する陳情

審査の結果「採択」。栗屋議長から町村会長（奥原村長）へ意見書を提出、要請することと決定した。（P15活動報告参照）

## TOPICS

令和8年度の地域おこし協力隊は採用まで至らず。お六櫛組合と相談、採用に繋げるよう募集する。

大部分を占めるこだまの森キャンプ場利用者は免税となり、宿泊税の徴収はない。

**要望** スキー場利用者の宿泊が減少しているため、村も一緒に宿泊者増加に向けた協議を進めてほしい。

**問** 協力隊起業補助金について

**答** 協力隊3年目もしくは起業1年目が対象の補助金で、今回2名分を計上した。補助金は農業機械の整備や拠点整備に活用する。

**問** ジビエ加工施設と新たな狩猟免許取得者について

**答** 加工施設については具体的な検討はしていないが、猟友会の声を聞きながら検討をしていきたい。また、狩猟免許取得については、補助制度等を拡充しており、女性も含め若い方が増えている。郡内でも木祖村の動きを広めていきたいとの声がある。

**問** 地域おこし協力隊の状況について

**答** 課題に応じて募集しており、意欲のある方を多く採用していく方針としているが、令和8年度は採用まで至らなかった。今後もインターンやおためし協力隊制度を活用し、継続して募集していく。特にお六櫛関係については、組合とも相談しながら本採用に繋げるよう募集していきたい。また、分野に応じた募集をして、任期中のミッションを明らかにしている。マンツーマン教育は難しいが、隊員は各分野の専門家の指導を受けながら活動をしている。

**要望** 協力隊員は木祖村に定着してほしい。

**問** 集落支援員について

**答** 元地域おこし協力隊員を任用する予定。

**問** 日曜画家展について

**答** 出品者は横ばいで推移している。来年度は記念大会となり、賞品は筆を予定しているが決まったものではなく、賞金については変更する予定はない。また、長野県生誕150周年記念事業へ認定されることで、特設サイトで情報発信ができるため、現在認定申請をしている。

**問** 木造住宅のモデル住宅について

**答** 現在は検討していないが、村営住宅の大規模改修時に併せ、転居専用の住宅を建築することで、関係事業者への支援を検討していく。

**意見** モデル住宅の建築や活性化を含めた事業者の検討を進めてほしい。

**問** ふるさと大使について

**答** 活動場所は親和性のある中京圏に絞っている。ふるさと大使の活動は無償となっているが、依頼した活動に対しては交通費を払っている。収益の出るイベントへの参加は対象外としている。

**意見** ふるさと大使の活動については、観光大使としての活動もあるので、関係者と協議を進めてほしい。また、ふるさと納税のPRについても考慮する必要がある。

**答** 話し合いを進め、すれ違いが起きないようにしていく。

**問** スキー場借地料について

**答** 菅生産森林組合と国有林の2ヶ所の借地料分。  
**問** スキー場支援について  
**答** 奥木曽グリーンリゾートとは協議や意見交換をしている。今後も意思疎通を図り、認識の共有をしていく。  
**問** 森林環境譲与税の活用について  
**答** 植樹については、針広混交林にしていくことを検討していく。  
**意見** 景観にも配慮した樹種を選定してほしい。  
**問** 木育事業について  
**答** 小学生向けに木曽五木など木に触れる機会を含めた内容を予定している。  
**意見** 大人向けの企画も検討してほしい。  
**問** 地籍調査事業について  
**答** 再調査予定の地区は、以前調査してから期間が経過し登記もできていない。細かい筆も多いため測量後、漏れの確認も含め再調査することとなった。  
**問** 村道味噌川線道路改良事業について  
**答** 令和7年度実施個所の南側約140メートルの区間を引き続き改良する。

**問** 交通量調査について  
**意見** 鳥居トンネル出口への信号機設置に向け、しっかりと調査を進めてほしい。  
**問** 購入する小型除雪機の設置場所について  
**答** 地区の要望を聞いて配置場所の選定をしていく。

議案26号 令和8年度木祖村簡易水道事業会計予算

**問** 葛沢頭首工改修工事について  
**答** バイパス工事を行うので、水量は減らない。  
**問** 水道アセットマネジメントについて  
**答** 県の下水道公社への発注支援委託を予定している。課題が出てきた場合は、名古屋環未来研究所にも相談していく。

議案27号 令和8年度木祖村下水道事業会計予算

質疑なし

陳情受付4番 令和9年度簡易水道基盤強化予算等の確保に向けた意見書の提出を求める陳情書

審査の結果「採択」提案議員：安原議員

3月  
会議

# 木祖村議会全員協議会

令和8年3月16日(月)  
役場2階 大会議室

## 協議事項

### ① 藪原宿地域活性化を考える（旧米屋旅館利活用）ワークショップについて 総務課

第1回は27名が参加、第2回は2月25日に開催、20名が参加、活用方法は「村内を回遊できる仕組みなど地域全体でみる連携」の意見が出された。今後は所有者と話し合い、施設の見学を行うなど検討を進めていく予定。村長から藪原宿全体が賑わう取り組みをしていきたいと説明があった。

### ② 小水力発電について 住民福祉課

予算8億8千万円（補助1億、起債6億8千万、自己資金1億）で、今後は県の企業局の建設・技術指導等を受け業者を選定、設計、令和12年運転開始の予定。21年目までは投資を続けるが27年目以降に黒字化となる見込み。売電利益はあらゆる事業への利用が可能との説明があった。

### ③ JR橋梁点検に係る談合事案について 建設水道課

昨年12月に談合が発覚、違反行為6社の内、4社と取引し、契約を行っており、令和3年度は1件、今後4月以降に賠償請求を行う予定。国庫金返還分の予算化で議会に諮り7月以降に発注予定。当初予算で載せられなかった塩沢大橋等の修繕及び点検は補正予算で対応していく。

### ④ 令和8年度補正予算予定事業について 総務課

産業振興課は山戸翁像線法面崩落箇所復旧工事、スキー場支援の人工降雪用導水管敷設改修工事を予定。建設水道課は、談合事案の影響で、塩沢大橋補修工事、塩沢峠橋補修工事を補正で対応予定。大掛かりな工事となる奥峰沢川護岸等改修工事の他、坂の下沢水路整備工事、駅前防火水槽移転事業、長期工事予定の宮沢砂防事業を予定している。

### ⑤ 株式会社源からの報告について

加工所の赤字解消に向けて、紫大豆おやき、乾燥野菜ミックス、ぴり辛こうじの製造を終了等見直す。今後、完全受託加工を増やす。村から経費等も含め資金繰り対応を進めていく。村からは、村の玄関口として安定的な支援を進めていくと説明があった。

### ⑥ 国道19号藪原改良について 建設水道課

今後、工事費80億円を見込み、トンネル工事に着手する。残土運搬、物資運搬の車両が往来するので今後住民説明会を行う。トンネル掘削に3年、完成は概ね10年かかり、両側取付に3～4年かかる見込み。道の駅に直接入るレーンはなくなり信号から入ることとなる。詳細は現在、県・村と検討中。安全祈願祭・起工式を7月下旬に行う予定と説明があった。（P14 特集2 国道19号藪原改良事業の概要参照）

### ⑦ サンキュー商会所有土地の現状について 総務課

ゴミの産廃について会社へ連絡、対応している。社長が外国人で帰国中のため4月以降の対応を依頼してある。不法投棄の可能性も含め、関係機関と協議し対応を進める必要があると説明があった。（P15 11区住民と議員の懇談会参照）

### ⑧ 木祖村ふるさと大使の活動について 総務課

無報酬のふるさと大使について、伊藤氏とずれがあり、本人から辞任の意向があった。議員から貢献度を考慮した対応を望む意見があり、今後対応を行う予定と説明があった。

### ⑨ 除雪事業について 建設水道課

降雪が少なく事業者の赤字による経費負担等について意見が出された。今後、反省会を行う予定との返答があった。

◆奥原 當 議員

- ①負担増の社会で村の対応策を問う
- ②地域コミュニティの再構築と人権問題への対応を問う

◆安原千佳世 議員

- ①防犯カメラの公共空間への設置について

◆深澤 衿子 議員

- ①施政方針から村づくりを考える

◆田中 寛幸 議員

- ①数原宿場内の住民や旅行者など歩行者の安全対策は

◆大久保庄亮 議員

- ①木祖村に木工伝統工芸館の設立を
- ②中山観光の進展を願う
- ③村内の収穫期を迎えた木材の伐採

◆宮下 孝次 議員

- ①既存産業の底上げと新規事業創出による雇用確保の取り組みを問う

◆田上 芳朗 議員

- ①奥原村長の1期目最終年度の予算編成について



おくはら ますはる  
奥原 當 議員

## 負担増の社会で村の対応策を問う

### 答 住民がより満足できるように努めていきたい

**問** 長期低成長を経て更に物価高と賃金の上昇もままならない中で、国の予算も借入による運営が続いている。今後、更に住民の負担が増すことが予想される。その中で少子高齢化が顕著に進む。村に今後住民生活の負担を減らし実質的に向上させる施策はあるか、村の施策を問う。

**村長** 上下水道の更新などが必要となり、将来的には料金の値上げ等、負担増をお願いしなければならない状況に直面している。今回、小中学校の給食費無償化をした。各種予防接種など個別の施策について今後も充実を図りたい。

**問** 住民をソフト面で支えることが大切。ここに住んで良かったと満足し、人生を全うできるかを問われている。地区によれば高齢化率が50%を超え70%に近づいているので、喫緊の課題であり5年10年後の展望をみる必要がある。

**村長** ソフト、ハード面の対策があるが、高齢化の中で思うような暮らしができないことも出てくる。今年度も集落支援員を雇用し、集落の遊休荒廃地、獣害対策を行うことにした。

**問** 菅のある区で役員等についての話し合いが何回も行われ、村側の速やかに細やかな対応を出して地域住民の運営を支えて欲しいという声が出た。

**村長** 施策を展開する中で住民の皆さんの満足、不満足等の声にアンテナを高くして寄り添うように努めた。

## 地域コミュニティの再構築と人権問題への対応を問う

**問** 経済の低迷する中で地域社会の高齢化が進み、かつての共同の形が希薄になっている。早急にコミュニティの再構築と生じてくる人権問題の対応を問う。

①各種村の施策の成果について

**住民福祉課長** 人権問題は重要な課題だ。社協と連携していきいきサロンなど、つながりを重視した協力体制をしている。困りごとなどの支援事業にも力を入れている。

**問** ②地域内の人権問題について、必要以上に個人を攻撃的に対応することが生じている。以前は「それはいけない」と言える人がいたが、今は経済が重くのしかかる中で他者に攻撃的になってきているので、喫緊の課題としてきちんと別枠の委員会を立ち上げてこの村では人権問題でのトラブルをなくすという決意を示す必要がある。

**住民福祉課長** 高齢者や外国人を含め地域の人権を守ることが大切。子どもの社会も同じ。人権擁護委員会、法務局、人権相談等で安心して相談できる体制を引き続き行っていきたい。

**問** ハラスメントとは、猟犬などをけしかけて相手を追い詰め、疲れ果てさせるまで追い回して楽しむという意味のフランス語である。もっと行政が踏み込んで改めて「人権」を守る姿勢を広報などで村長の職権として具体的な方針を出すべき。

**村長** 広報きそ等で人権が守られるよう啓蒙、いろいろな媒体を使ってやっていく。

**問** 人権を侵害することは恥ずべきこととして村民を導いて欲しい。今、世界は自分さえよければ、という考えが横行している中で、定着させるのは困難であるが、村長が示せば人生を全うできることが幸せとの考えが浸透する。二度と起こさない、根絶するということが大切。

**村長** 人権を守ることが基本中の基本であるので進めたい。



やすはら かよ  
安原千佳世 議員

## 防犯カメラの公共空間への設置について

### 答 住民の意見を聴きながら前向きに検討をしていきたい

**問** 近年押し込み強盗など広域的な犯罪を防止するため、全国の自治体で防犯カメラを設置する事例が増えている。これによって犯罪件数が減少した実例も出ている。県内でも設置する自治体が現れている。設置の効果として①犯罪の抑止効果。②事件の早期解決につながる。③行方不明者の捜索にも有効である。④住民の安心感の向上につながるなどがあげられる。

一方、問題としては①プライバシーの侵害。②閲覧権限、第三者への映像の提供ルール等データ管理の問題。③設置・運用コストの問題。④設置拡大による自治体の過度な監視につながる等があげられる。これらについては以下の措置を講じることにより解決できる。①目的の明確化と管理体制の構築②設置場所の限定③保存期間の限定④第三者への情報提供の厳格管理、これは限定

列挙方式（防犯・防災、交通安全、子どもの捜索等）で明確化する。⑤住民への説明と透明性確保。以上を踏まえて村の現在の状況と今後の取組みについて問う。

**総務課長** 現在、村では消防団の詰所、自動車車庫13か所、水道施設4か所、役場庁舎2か所に設置をしている。これらの取扱い規定は作成していない。民間の設置状況については把握していない。過去の行政懇談会や自治会要望において防犯カメラを設置すべきとの要望が出されたこともあり、今後住民の意見を聞き前向きに検討していく。

**意見** 村内では高齢者世帯や独居老人が増えており、いろいろな事件に巻き込まれる恐れが生じてくる。長期的観点に立って取り組んで欲しい。また現在稼働中の村の監視カメラの取扱い規定を早急に整備されたい。



ふかざわえりこ  
深澤衿子 議員

## 施政方針から村づくりを考える

### 答 今まで以上に住民の声を聴く場を設けていく

**問** 人口が減少しても村民の生活環境を維持し守っていくのが村としての務めである。施政方針の中に住民の声をよく聴き村政に反映させていくとある。新年度はどんな場を設け村民の声を聞いていくのか。

**村長** 住民の声をしっかりと聞くことは、私の最も基本的姿勢である。行政懇談会に加え、村長と語る会、各自治会や各種団体の総会、総合教育会議等で保護者との意見交換など新たな試みを行ってきた。村長と話す会は、1年間で3回。自治会常会の声はかからなかった。話そう会の3回の内、防災対策や鳥居峠の遊歩道整備等、今後の事業化に道筋をつけた相談内容もあり、開催の意義があった。この取り組みを広げるとともに、各種会合への参加を通じ、これまで以上に村民の声を聴いていきたい。

**問** 子育て中の方たちの声を聞くにはそういう場所へ出向いていかなくてはならない。8年度に向け園や学校と連絡を取り、1年に一度でもいいので声を聴くことを提案する。

**村長** 先週保育園の保護者の声を聴くことができた。今回は小中学校のあり方についてをテーマに30分懇談をした。子育て支援全般や村の考えを保育園とも相談し、若い保護者の声も聴くなどしっかり取り組む。

**問** 木曾X（かけはし）プロジェクトは王滝村社協幹事が休眠預金事業とし木曾全体を巻き込んで始まったが、村はどのように考えて応援していくのか。

**村長** このプロジェクトは、郡内の社協で取り組み、検討が始まっているが詳細は把握していない。人口減少が深刻化し、担い手の弱体化が懸念される中、各町

村や関係機関団体が福祉を担ってきた。今後は、関係者が連携、協働、障壁を打破していくとの考えに共感する。例えば行政と介護事業者で地域色のある持続可能な福祉サービス作りを行うこと、人材確保の面で協働していくこと等福祉の向上を目指していく上で非常に重要な観点と思う。村として協働可能なものは、積極的に取り入れていきたい。

**問** 小水力事業は村が計画した頃から比べると気候変動等が顕著になり、下流域にとってプラスになるのか。村は発電でプラスになるというが大変な事業。計画・設計・施行となるが、1月2月の少ない降水量で水量、状況により再考となるのか、今後どう取り組んでいくか？

**村長** 計画している小水力発電事業は、小木曾地区水源の笹川、上水道の取り入れがある場所より下流から取水、県道の水木沢入口付近で発電後、水を浄化して笹川本流に全量を戻す計画である。下流域や村内の生活水に影響を及ぼすことはない。水不足の時は発電する区間の魚類等の影響もあるので枯れないよう取水の調整をする。令和2年3月に気候非常事態宣言を起案した当事者として、森林保全活動と再生可能エネルギー普及拡大を目指しゼロカーボンを推進する。県の企業局と計画、着工、維持管理に関わることを前提に事業を進めている。今年度基本設計に入り、令和11、12年度を完成の目途とする状況である。

**意見** 県にいた村長だからこそ、企業局のバックアップがしっかりいただける。今後安定した事業となるようお願いしたい。



たなかひろゆき  
田中寛幸 議員

## 藪原宿場内の住民や旅行者など歩行者の安全対策は

### 答 可能な限り迅速に対応している

暖かくなると子ども達の外の活動が活発化し、中山道鳥居峠入込客もぐっと増加する。そのような中、優しい街づくりについて伺う。

**問** 歩行者の安全対策の現状をどのように把握し、当面の対策をとるか？

**建設水道課長** 現状の把握は交通安全協会でも毎年カーブミラー清掃に合わせ地区内の危険個所の点検、通学路等危険個所はPTAによる危険個所報告や理事者を含む職員のパトロールを実施している。可能な限り迅速に対応し、時間のかかるものは応急対策をしている。

**問** 高美町ガードについては水漏れ、階段の凍結、水滴が落ちるが、その対策は？

**建設水道課長** 指摘箇所は壁からの浸水を完全に止めることは困難であるため、現在はコーンをおいて注意喚起している。この構造物はJR東海の管理であるためJR東海に対策を依頼している。

**問** お宮の下のガードは小中学生の通学路でもあるが、路側帯がない。旅行者、生活者が通行するが安全対策は？

**建設水道課長** 早速グリーンベルトのような路側帯を設置していきたい。

**問** 藪原駅前公園横ガードについては藪沢川のすぐ横を通行するが、さらなる安全対策は？

**建設水道課長** 河川管理上柵の設置等は好ましくないことから高美町ガードを通行するよう案内看板の設置と水かさが増した時に通行規制ができるようセンサーの設置を考えている。

**問** 北分署の峠に向かう道路の安全対策として横断歩道の設置は？

**建設水道課長** 県の公安委員会に横断歩道の設置をお願いしたが、カーブの手前であったため認められなかった。道路管理者が講ずる安全対策として往来する車に減速を促す路面表示と横断部分に赤色の塗装で注意喚起を行っている。

**問** 歩行者のための優しい街づくりの計画は？

**建設水道課長** 区域内の車両の通行速度を30kmに指定する「ゾーン30」に指定されている旨、周知を強化し、人と車が安全に共存できる優しい街づくりを推進していく。



おおさくぼしゅうすけ  
大久保庄亮 議員

## 木祖村に木工伝統工芸館の設立を

### 答 郷土館を伝統工芸発信の場、生涯学習の拠点施設として活用していく

**問** 現在、農業体験ツアーを始め色々な体験ツアーがブームになっている。藪原宿の街中を歩く外国人が多くなってきている今こそ、お六櫛の製造体験ツアーができる工芸館を創ってはどうか。地域おこし協力隊が始めているダムの流木のブローチ造りや、子どもたちが積み木で遊んだり、お客様にコーヒーを出したり、村の名産品を販売、記念写真や自作の絵画の額縁を完成させることができる空間。俳句・和歌の短冊や、生まれた赤ちゃんの足型の額装等々。子どもから大人まで誰もが気軽に集まれる場所が必要である。

**村長** ご提案の体験の観光的な活用は、現在、櫛の磨き体験や櫛引体験を組合が中心に実施をしている。これからは郷土館を伝統工芸を発信する場、生涯学習の拠点施設として活用していきたいと考えている。平野氏のワークショップは色々な作業もあり有効。支援をしていく。

### 中山観光の進展を願う

**問** 村民から願いがあった。①5区の大洞から登って大平に至るまでの遊歩道を造って欲しい。②その道を材木の搬出ができるように。③観光客が行けるように展望台を作って欲しい。村民の健康と木材の搬出、

観光資源発掘のために重要なことと思う。

**村長** 中山観光施設の開発は、どれだけの人が行くのか、整備の費用といった費用対効果を考える必要がある。歴史ある文化財がある等確認されていないので、遊歩道を作ったとしても、多くの観光客が来るといことは見込めないのが現状。中山の観光施設については農村の観光振興に対する一つの提案として承っておく。

### 村内の※収穫期を迎えた木材の伐採

**問** 昔は土手や畦道の草が刈られ、村内は綺麗になっていた。今は村全体がむしゃぼい、みやましくしてほしいという意見が多い。村長の権限で、虫の目で見るとは鳥の目で俯瞰し、村内を10区分ぐらいに分け、森林も含めた景観形成を進めていただきたい。

**村長** 原則として個人の資産は村で管理をすることはできない。森林経営管理制度があり、例えば複数の方がまとまって一つの団地を形成し、団地の整備をすることになれば村が関わることもあり得る。森林環境譲与税も活用しながら計画的に森林整備を促進していきたい。

(※提出原稿のまま掲載しました)



みやしたたかつぐ  
宮下孝次 議員

## 既存産業の底上げと新規事業創出による雇用確保の取り組みを問う

**答** 既存産業へ幅広く支援、定期的な情報交換で多様化するニーズに応え、雇用の創出に取り組んでいく

村の施策は全て雇用確保に繋がるが、必ず雇用を確保するという意気込みには欠けると感じている。様々な投資がされるが、何と云っても若者を中心に働く場所がない現状である。雇用の確保・創出・拡大が人口減少と少子高齢化を緩やかにし、持続可能な村づくりに繋がることから新年度施策を補強する立場から各種取り組みを問う。

**問** 既存産業の支援強化・底上げ、活性化など産業の多様化支援で年齢を問わない雇用環境の創出について伺う。

**産業振興課長** 地域産業活性化補助金や農畜産の電気柵等各種補助、森林造成の嵩上げ補助等支援をしている。各産業分野と定期的な情報交換により多様化するニーズに対応し、雇用の場を創出できるよう取り組んでいく。

**問** 雇用の選択肢を拡大する営みが大切。若者の定着に向けた就労・起業支援等、雇用の選択肢拡大を伺う。

**産業振興課長** 就労・起業支援は\*U・I・Jターンを促進し支援、空き家店舗活用事業補助金を実施している。今後も若年層定着に向けた施策の推進に取り組んでいく。

**問** 御嶽はくさいのように、トウモロコシの増産・販路拡大、ブランド化を通じた雇用機会の創出について伺う。

**産業振興課長** トウモロコシも道の駅やふるさと納税で人気だ。道の駅の買取価格引き上げ補助で安定供給が進めば販路拡大、儲かる農業で雇用機会創出に繋がる。

**問** 村は伐期を迎えたカラマツが豊富。製材を委託、高付加価値の製品開発等新規事業による雇用創出を伺う。

**産業振興課長** 木曾町、旧楯川で合板工場が稼働予定。村でもこれと連携して木材供給を行いカラマツの価値と利用促進を図っていききたいと考えている。

**問** 白馬岩岳の成功例に倣いグリーンシーズンのスキー場へ\*アクティビティ開発事業による通年雇用を伺う。

**産業振興課長** グリーンシーズンの活用はスキー場のあり方でも議論した。日進市から4輪バギーツアーの提案がありふるさと納税の返礼品になっている。今後、\*奥木曾GRとバギーの活用方法を含め検討していききたい。

**問** こだまの森へWi-Fiを導入、コワスペやSO誘致等テレワークやリモートワーク拠点整備での雇用創出を伺う。

**産業振興課長** 以前キャンプ場への\*ワーケーション誘致が話題になり、こだまの森の食堂へワーキングスペースを確保したが利用者がなかったが、\*コワスペ、\*SOは村内の空き家活用の観点と合わせ検討してみたい。

**問** 空き家を利用したい人が条件等をHPに載せ、提供する人と交渉・成約する白馬村のさかさまバンクに就いた空き家紹介事業充実による人口増と雇用創出を伺う。

**副村長** さかさまバンクは効果的である。バンクに未登録の潜在的な空き家が多く、登録制度の改定を視野に利用希望者の登録や公開の方法を検討、推進していききたい。

**問** \*二地域居住は関係人口を増やし移住定住に繋がる。東海地域を意識したプロモーションでニーズを掘り起こし、各種マーケティングによる人口増施策について伺う。

**副村長** 村で先事例がある。これまでの上下流事業を生かした新しいライフスタイルの提案が必要。SNS、メディア、イベント等のアプローチを手掛けていききたい。

**問** お六櫛の無形文化財指定、御嶽山国定公園指定を契機に郡内観光地と連携したルート開発、誘客VR等デジタル広報の強化、観光事業推進による雇用確保を伺う。

**副村長** 各指定は観光資源の魅力向上から大いに期待したい。県の広域への参加で木曾路ロングトレイルが検討されている。ルート開発、デジタル広報は観光・誘客ツールとして研究、村として積極的に提案していききたい。

**要望** 施策を進めるにあたっては雇用の確保・創出・拡大を強く意識し、持続可能な村づくりに繋げて欲しい。

- \*U・I・Jターン Uターン：地方出身者の移住・転職  
Iターン：全く縁のない土地への移住  
Jターン：出身地の近くの地方都市へ移住
- \*アクティビティ：体験プログラムやスポーツ、レクリエーション
- \*奥木曾GR：奥木曾グリーンリゾート株式会社
- \*ワーケーション：リゾート地や地方など普段と異なる場所でテレワークを行いながら、休暇も楽しむ新しい働き方
- \*コワスペ：異なる職業の人々がWi-Fiや机、イスなどのオフィス設備を共有、仕事を行うスペース
- \*SO：本社・拠点から離れた場所に設置されたサテライトオフィス
- \*二地域居住：主な生活拠点（都市部）とは別にもう一つの拠点（地方等）を持ち、定期的に行き来する生活スタイル



たうえしろう  
田上芳朗 議員

## 奥原村長の1期目最終年度の予算編成について

**答** 公約は概ね達成。予算は駅前観光拠点整備、給食無償化等が目玉。今後のことは6月議会で表明する

**問** 令和8年度当初予算において特に思いを持って計上した事業は？

**村長** 第1に駅前の観光拠点としての整備事業。第2に小学校と中学校の完全給食無償化。第3に小水力発電事業の開始。主にこの3点だが、他は鳥獣対策等。

**問** 就任当時掲げた公約の達成や今後に向けた心情は？

**村長** 公約は概ね達成できたと思う。また、今後の事であるが、正式には6月会議において決意を述べたい。それにはまず体力であるが、自身では村長職の激務に耐えうる体であると思っている。次に、家族の了解も得ている。あとは、村民の皆様からの応援が一番大事だと思っているところであり、これらを合わせてあらためて表明したいと思っている。

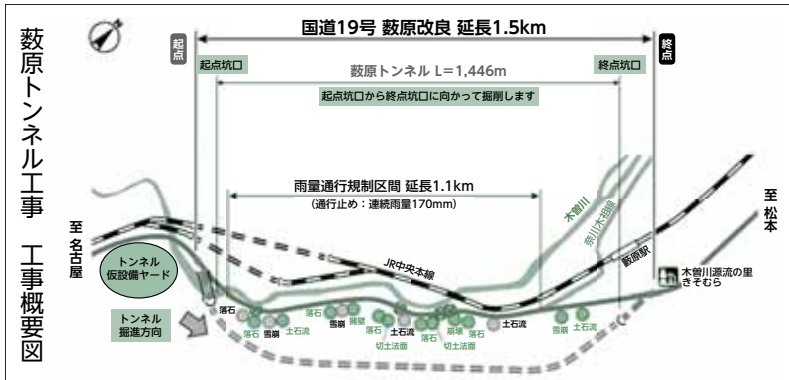
## 国道19号数原改良事業の概要

全員協議会で中部地方整備局飯田国道事務所から工事の概要について説明があった。  
(P9議会全員協議会⑥参照)

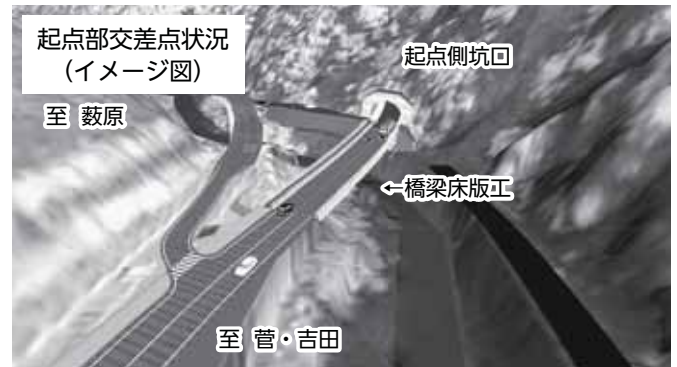
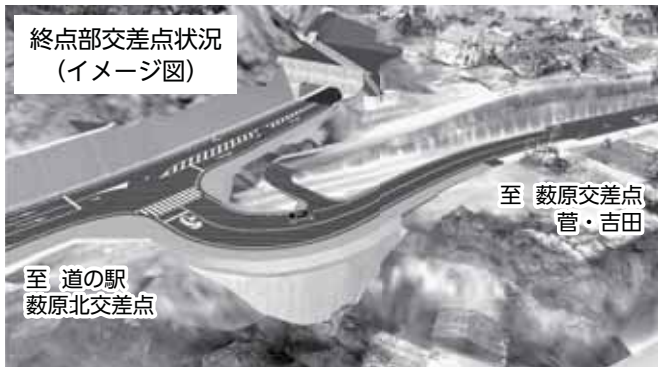
数原交差点以南の区間（下図参照）は大雨や台風の際に連続雨量170mmで通行止めになるなど、要対策箇所や防災箇所が数か所指摘されており、早くからその改良が望まれていました。平成29年度の事業化決定以降、起点部の橋梁床版工や終点部の切り回し道路施工は完了していますが、このたび本体工事であるトンネル工事に着工する運びとなりました。

### <改良事業の概要>

- ◆工事主体：国交省事業（中部地方整備局飯田国道事務所）
- ◆工事距離：約1.5km（内トンネル部分約1.4km）



- ◆計画交通量：14,000台/日
- ◆事業費：108億円
- ◆スケジュール：
  - トンネル工事起点側 4月上旬～（予定）
  - 土砂運搬 4月下旬～（予定）
- ◆その他：
  - コア山への土砂運搬は10tダンプ（1日当り13台で10往復程度の見込み、日々増減あり）、運搬ルートは別途決定、回覧等で周知の予定。
- ※工事に伴う村の工事等
  - ・簡易水道配水管敷設工事（木坂）
  - ・信号機設置検討の資料として県道、村道の交通量を調査



（注）本イメージ図は令和4年9月2日時点のものであり今後変更となる場合があります。

### 松塩筑木曾老人福祉施設 組合議会 第2回定例会

### 構成市町村の均等割、 入所者割の負担金導入決まる

令和8年2月16日(月)  
塩尻市保健福祉センター

- 議案第1号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例…………… 可決
- 令和8年度一般会計予算…………… 可決
- 令和7年度一般会計補正予算（第2号）…………… 可決

閉鎖予定の四賀福寿荘となんてんの里が公募施設となり、新たに岡田の里の公募施設としての追加が提案された。

#### 【令和8年1月時点の検討の方向性】

組合の経営形態としては、当初、社会福祉法人化を目指すとしていたが、職員の身分保障、経費負担等の課題があり、また、組合施設の民間移管も進められることになったため、社会福祉法人化と公営企業団のメリット・デメリットを比較した結果、公営企業団の方向で継続協議としている。

|           |        |              |
|-----------|--------|--------------|
| 予 算 額     | 46.4億円 |              |
| 財政調整基金繰入  | 57億円   | 歳出要求額 46.4億円 |
| 繰 入 要 求 額 | 40.7億円 |              |

|           |  |
|-----------|--|
| ▶歳 入 額    | 40億7,600万円                                 |
| ▶歳 出 額    | 46億4,300万円                                 |
| ▶財政調整基金繰入 | 5億6,700万円                                  |
| ▶財政調整基金残高 | 令和7年度末（予定）9億2,000万円<br>令和8年度末（予定）3億6,000万円 |

議員が行った活動の報告です

### 町村議会運営研修会 令和8年1月21日(水)／松本市浅間温泉文化センター

1月21日(水)浅間温泉文化センターで開催された町村議会運営研修会に議会運営委員会の議員3名が参加しました。町村議会の現状と議会運営を適正に進めるための研修として、

- ◆「議会実態調査の結果の概要について」長野県町村議会議長会政務課 主任 村田 一樹氏
- ◆「地方議会の運営について」全国町村議会議長会議事調査部 参与 平野 誠氏

の講演を聴講しました。各町村議会における情報収集・情報交換、全国町村議会議長会が政府・国会等に対し、政策提案・要望活動を行う際の基礎資料として活用されている資料について説明を受け、全国の町村の現状を知る中で当村の議会における課題について考える良い機会となりました。

また、「議案の審議について」で議案についての知識を深めるとともに、基本となる法律や流れを学び、適正な審議を行うための良い研修会となりました。今後も住民の皆さんのために適正な議会運営を進めていきたいと思っております。



### 2区住民と議員の懇談会 令和8年2月25日(水)／2区コミュニティセンター

- ◆出席：自治会長・篠原 長平さん他5名
- ◆議員：田中議員、奥原議員2名
- ◆テーマ：自治会役員のなり手について
- ◆意見等：

- ・区の役員のなり手がなく何年も続けてやらなければならない困難に直面している。議会との懇談会を行った（高齢化率が60%を超えている）。
- ・役の数を減らして欲しい。
- ・消防団のようにコンパクトにして欲しい。

- ・若い人への引継ぎもうまくいかない。
  - ・若い人に役をやってほしいが、仕事の関係などで協力が得られない面がある。
  - ・このような会議を続けるのではなく、村全体で考える必要があるのではないか。
  - ・10年後は共同作業も危うくなり区が回らない。
  - ・合区等の声も出ているが、なかなか進まない。
- ※10年後にはどの区でも確実なので行政側も早急に協議する必要がある。

### 11区住民と議員の懇談会 令和8年3月7日(土)／光沢交流センター

- ◆出席：自治会長・岩原茂男さん他11名
- ◆議員：田中議員、宮下議員、清水議員、深澤議員4名
- ◆意見等〈日頃感じていること、困っていること等〉：
- ・11区の県道はスピードを出す車が多く、ヒヤッとすることが多い。自宅から出る時に左右の確認をするが、50km規制のところを60km以上で走行していて大変危険。生活道路なので40km制限にしてほしい。また、備勢橋から保育園まで散歩などのコー

- スとして歩道の設置をしてほしい。
- ・安藤建設の建物を壊した跡地西側にゴミが捨てられている。不法投棄らしいが衛生上、景観上も問題。
- ・区内でネコが増えすぎて対応に困っている。等の意見が出され、それぞれ村の担当等へ対応を依頼しました。



### 議員自主企画 門田弁護士との研修会「木曽地域における司法施設の現状について」

令和8年3月9日(月)議員協議会／3月11日(水)常任委員会連合審査／3月16日(月)全員協議会 (P3議案審議結果参照)

3月9日(月)議員協議会にて、提出されている陳情書の内容を適正に審議するため、議員全員が参加して研修会を行いました。

- ◆「木曽地域における司法施設の現状について」木曽ひまわり基金法律事務所 弁護士 門田 雅也氏 陳情書の「木曽の司法をあきらめない協議会の設立及び活動に関する陳情」に関し、木曽地域における司法施設、簡易裁判所や法務局の置かれている現状と住民の権利救済・紛争予防を支える公共インフラの維持を目指し、協議会の設立及び活動の必要性を学び、陳情書の審議について議員一人ひとりが真摯に向き合う、たいへん意義のある勉強会となりました。

なお、3月11日(水)に開催された常任委員会の連合審査において審議、議案として採択することとしました。また、3月16日(月)に行われた全員協議会の冒頭、栗屋議長から奥原村長へ採択された陳情書を手交し、議員としての大切な任務を果たしました。



研修会の模様



陳情書を奥原村長に手交

森下さんは、松本国際中学校の軟式野球部のピッチャーとして厳しい練習に明け暮れ、各種大会に出場するなど活躍をしている木祖村在住の中学2年生です。

3月20日(金)～25日(水)にかけて岡山県倉敷市で行われた、文部科学大臣杯第17回全日本少年春季軟式野球大会ENEOSトーナメント大会(56チーム参加)に長野県代表チーム(松本国際中学校)のピッチャーとして出場、活躍をしています。試合に先立つ3月上旬に奥原村長を表敬訪問、将来を嘱望される選手として奥原村長と源流の森クラブから激励を受けました。(奥原村長に全国大会出場への意気込みを語る様子が市民タイムス3月11日(水)付で伝えられています。)

大会は、残念ながら初戦の鹿児島県代表の日草学園鹿児島育英館中学校に敗退してしまいましたが、村出身の若きアスリートとして、今後の活躍に大きな期待をするところです。一生懸命頑張っている森下さんに抱負を伺いました。

## トレーニングしてレベルアップ! 高校野球で活躍、プロ野球を目指します!



この春、全国大会に出場して初戦敗退という結果でした。自分自身まだまだ全国で戦うレベルではない事がわかりました。

中学野球最後の夏に向けて、今まで以上のトレーニングをして、自分のメンタルの弱さを克服出来るように。ピッチングの精度を上げるために走り込みと体幹トレーニングを。バッティングの確実性を上げるために、コンパクトなスイングの振込みを。積極的かつ勝利に結びつける走塁が出来るように、練習から試合を想定したランニングを心掛ける事。

全てにおいてレベルアップをしてこれから先の高校野球で通用する選手になり、その先のプロ野球を目指します!



## 自己紹介 ①年齢 ②住所 ③抱負・自己PR

森下 悠 さん ①14歳 ②木祖村小木曾  
③チームとして全国大会出場、自分としては、全国大会に出場出来るようにチームの勝利に貢献する事です。

## 編集後記



小中学校あり方検討会が始まって2年が経過する。検討会委員は約30名が仰せつかっている。私も座長に指名され参加している。この検討会は奥原村政の柱の一つと言ってよい。令和6年5月に第1回を開催し、この3月末の開催で7回目を迎える。

最初は、県内の事例を勉強して認識のレベルを平準化した。とりわけ第3回では榎川小中学校の事例について実際にその過程に携わった教員から報告を受けて学ぶ勉強になった。昨年9月の第5回からは「学校創りミーティング」として一般の自由参加も始まった。これには子どもたちも参加しており、村民全体が関心を持って参加している。

若いお母さんたちも参加してくれていて、その意見は大変参考になった。私の小中学校時代とは環境も大きく変化しており、現在の親たちの意見を聴けるのは誠にプラスになる。

この検討会の結論は「学校の施設の統合」にある。少子化の中で、また村全体の人口減少の中で小・中の二つの施設を維持することは財政的にも不可能である。想定されるのは、「小・中併設校」か「9年間の義務教育学校(小中学校)」のどちらかである。どちらもメリット・デメリットがあり、これからの議論になる。中学校は隣の中学校と一緒になればよいとの意見もあるが、小中学校は自治体の基盤であり根幹と考える。その一部でも喪失すれば地域は衰退の一途を辿ると考える。

村は「子どもは村の宝物である」としてこれまで取り組んできた。子育て支援策として色々な施策を施してきたが、8年度からは給食費の無償化を始める。

私の時代は営林署、教職員、国鉄職員の子弟の転校生が毎年のようにあり、刺激を受けたり新たな雰囲気を作ってくれたりした。現在は少人数で保育園から中学校までほぼ同じメンバーで過ごす。せめて思春期に当たる小学校卒業や中学入学という一つの節目は残した方が良くとも思う。難しい課題である。(安原)